

令和7年5月

第254号

"Taneyama Super Sire News"

たねやま種雄牛だより

Since 2004.4

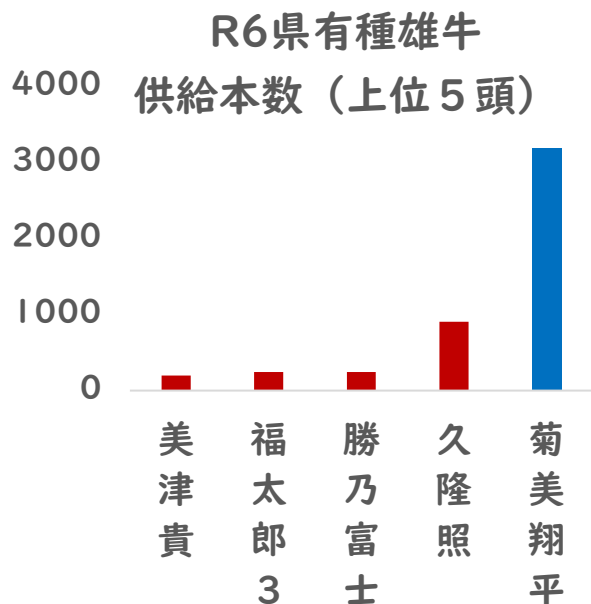
県有種雄牛育種価情報

県内から出荷された肥育牛の枝肉成績をもとに令和7年3月に（公社）全国和牛登録協会が評価した育種価の情報をお知らせします。推定育種価の対象となる民間有及び他県有を含む種雄牛

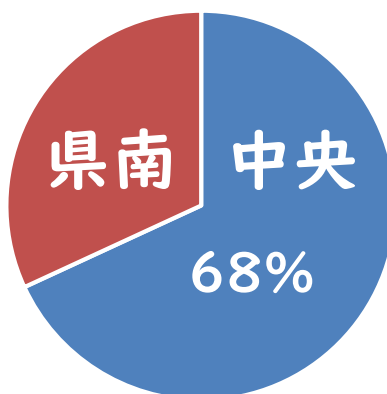
3,226頭のうち、「^{きくみしょうへい}菊美翔平」が脂肪交雑で第3位、「^{ふくたろうさん}福太郎3」が脂肪交雑で第6位、バラの厚さで第1位、枝肉重量で第5位となりました。繁殖雌牛の最新の育種価情報は、6月から子牛市場相談窓口ほかで提供予定です。

「菊美翔平」凍結精液供給実績

令和6年度の「菊美翔平」の凍結精液総供給本数は 3,193本（中央2,175本、県南1,018本）でした。県有種雄牛の供給本数の約 6割 を占め、人気の高さが伺えます。



菊美翔平
地域別供給割合



「菊美翔平」「福太郎3」が共同利用種雄牛に選定

肉用牛の優良種雄牛の作出・利用のため農林水産省が推進し、20 道県が参加する広域後代検定において、産肉能力を高く評価された「菊美翔平」及び「福太郎3」が他道県の育種改良に活用される共同利用種雄牛に選定されました。

令和7年度 現場後代検定スタート

今年度、^{まんとろう}「万太郎」、^{ゆりしらふく}「百合白福」及び^{かつのふじ}「勝乃富士」の現場後代検定を開始します。

4月8日及び5月14日にJA全農いわて県南家畜市場で「万太郎」及び「勝乃富士」、5月13日に中央家畜市場で「百合白福」の現場後代検定調査牛の幹旋会が開催され、産子の発育や父牛から受継いだ体型的な特徴などを確認し、それぞれ調査牛を選抜しました。

産子のおもな特徴は次のとおりです。

「万太郎」

優点：発育、体幅、体伸、乳徴

惜点：肩付、尻形

「百合白福」

優点：発育、腹容、品位、体上線

惜点：下けん、下腿の充実、斉一性

「勝乃富士」

優点：発育、体伸、骨味

惜点：肩端、体深、やや長脚、毛味



「勝乃富士」幹旋会の様子（県南家畜市場）

調査牛は、肥育農家に引取られ、去勢牛は29か月齢、雌牛は32か月齢までおよそ2年間肥育されます。検定成績の判明は令和9年春頃になる予定です。



～種山の情報誌・SNSはこちらのQRコードからチェック～
←【たねやま種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバー
Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →

